

# いしだ便り

第 25 号

2019年1月24日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会



年頭にあたって

石田ふるさと振興会  
会長 渡辺三男

新年あけましておめでとうでございます。平成最後の新年を、ご家族皆様で迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、振興会事業に地域の皆様のご協力のもと大勢の方々の参加を賜り誠にありがとうございました。

本年は、石田地区振興対策事業（二億円事業）を市と協議の上要望した事業の一つでも実現し、次の事業へ弾みをつけたいと思います。また、各委員会が主体となりさまざまな事業を展開してまいりますので、多数の皆様の参加をお待ち申し上げます。

本年も皆様にとりまして、良い年になりますようお願い申し上げます。

## 石田の高校生大活躍

### 全国高校ラグビー大会出場

初出場となった聖光学院高校の石田出身三年生菅野正毅選手、阿部航太選手、一年生田代瑞紀選手は福島県大会を

勝ち抜き悲願であった初優勝に貢献しました。聖光学院高校は十二月二十八日東大阪市の花園ラグビー場で行われた全国高校ラグビー大会に出場し、徳島県代表城東高校と対戦し七対二十四で破れ初戦で涙を飲みました。数少ない石田の高校生のがんばりは誇らしく今後も期待し応援していきたいと思えます。



県大会初優勝時の写真  
最上段左端阿部選手、右端菅野選手

## 東京ふるさと霊山会

### 交流会に参加して

事務局長 菅野直芳

十一月十七日（土）東京上野の東天紅上野本店で行われた交流会に、石田

ふるさと振興会を代表して事務局長の菅野直芳と事務局の菅野律子の二名が参加してきました。霊山からは、元町長さんをはじめとし、市議員さん、各地区自治組織等二十二名が参加しました。交流会は東京ふるさと霊山会の会員五十九名と併せて総勢八十一名の盛会となりました。

交流会は東京ふるさと霊山会総会終了後に、各地区に分かれ実施されました。石田地区出身者は、会長の菅野正之さんをはじめ十一名が参加しました。私たちは石田の現状と「いしだ便り」を配布するとともに、ホームページとアクセス方法を説明しました。終始和やかな雰囲気のもと無事終了いたしました。東京ふるさと霊山会の皆さんは、ふるさと霊山を懐かしんでいられました。

## 石田の宝

### 石戸駐在所前の慰霊碑

慰霊碑に記されていた内容とは

豪雨警戒中濁流にのまれる

保原警察署勤務

巡査 木村 栄三郎

氏は明治十一年宮城県桃生郡前谷地

村木村利三郎の男に生まれ謹厳資性剛重であった。明治三十八年福島県巡査を拝命、保原警察署石戸村駐在所勤務中、大正二年八月二十七日連日の豪雨のため石田川が氾濫し沿岸の石田部落は危険な状況に陥ったので、氏は身の危険はもとより、妻と長男長女の家族のことも気づかわれたが、そのままに駐在所に置き、豪雨の中をそれぞれ危険地点の部民を安全地帯に避難の指導救護に務めた結果一応避難させることができた。

一方駐在所も危険の状態に陥ったので、家族の避難と重要書類の保全のため、ひとまず駐在所に帰所した際、たまたま午後二時頃上流の堤防が決壊して、濁流が一気に傾斜面の駐在所を襲い、家屋や樹木はもとより、土砂一面の濁流のため駐在所の建物もろとも、行年三十四歳をもって妻、長男、長女の親子四名は無残にも濁流に押し流され溺死するに至った。

もとより氏は住民の救護よろしきを得たので、他に犠牲者がなかったことは、さだめし氏も本望とされたことであろうが、この殉職の報伝わるや、村民は感動、氏を敬慕するの情切なるものがあつた。県は氏のこの功績に対し即日巡査部長に昇進せしめ、弔祭料及び遺族扶助料を送った。

後、大正五年一月保原分署長菊池俊雄により村内有志の助力を得て同村石田字下岩崎十九

番地に氏の殉職碑が建立された。

(慰霊祭時の資料より)

現在の場所には国道拡張時に移転され、毎年八月末に慰霊祭が実施されています。



平成 30 年 8 月に実施された慰霊祭

### 石田地区の行政区便り

小石田行政区長 渡辺隆則  
こちら小石田行政区です

現在、小石田の戸数は二十七戸、一戸平均二・七人前後の集落です。

部落には、住民相互の絆と親睦を目的としたグループ小石田親睦会、あそびにいくべ、という組織があり、春の花見、秋の日帰り旅

行、そして忘年会と部落の老若が気軽にふれあい、笑い話できる場があります。

さらに去年四月から、市健康都市づくり課の指導のもと「小石田元気づくり会」を立ちあげ、今後も住み慣れた地域で、元気で過ごすために体を動かして自立した元気な身体づくりを目指し毎週二回健康づくり運動を実施しています。参加されている方たちは、「体が軽くなった」「背筋がのびた」「皆と一緒にできる」など喜びの声が聞かれ、開催日が待ち遠しく楽しみにしているようです。



平成 30 年 10 月山形羽黒山神社にて

環境防災委員会

第2回防災訓練実施

十二月二日、第二回の防災訓練を行いました。晴天の中、約百名の方の参加の中で、スモーク体験、各行政区による災害確認訓練、土砂崩れによる救出法、搬出法、応急処置など消防署の方の指導のもと行われました。また、婦人会、サロンの女性の方々には、炊き出し訓練、今年は芋煮汁も準備されおいしく試食することができました。



被害状況確認訓練状況



救出訓練状況



炊き出し訓練の芋煮、おにぎりなど参加者で試食  
(芋は普光寺さんからいただきました。)



炊き出し芋煮訓練



骨折応急処置訓練

総務広報委員会

新年号が気に掛かる年明けとなり、平成も残すところわずかとなりました。年度を振り返り、委員の方々の協力により地区の大きな行事である、盛大に行われた夏祭りでは主要な役割を、無事こなすことができました。また、植栽や草刈、防災訓練などでもご協力いただきました。ホームページを是非観てください。随時更新しております。石田便りも掲載しています。皆さんからの話題をお待ちしています。

健康福祉委員会

十月たこ焼きパーティー、十一月バトミントン、十二月クリスマスパーティー「石田っこクラブ」には毎回、ほとんどの小学生が参加してくれます。次月は何をやるのかとても楽しみにしています。

スタッフの数が足りず思うようにできないこともありますので、お手伝いしていただける方、子供達と遊んでいただける方の参加も大歓迎です。

また、もっと親子での参加が増えて、「石田っこクラブ」が保護者同士や地域の方との交流の場にもなれば良いと願っています。

地域活性化委員会

あけましておめでとございます。  
今年も地域活性化は、昨年同様、一つ一つ目



みんなでクリスマス会



ツリー作り

集会所修繕補助事業

里山整備事業

平成30年度振興会補助事業について  
予算枠がまだありますので、環境改善を図って住みよい地域にして頂きたいと思っています。

お知らせ



全戸に配布されたカレンダー

標を達成できるように頑張ってくださいと思います。  
ますので、皆さんの御協力をおねがいします。  
「石田の宝」  
毎年カレンダーを作成していますが、今年もいろいろの方から写真を出してもらいました。人物や風景などありますが、このカレンダーに写っている写真が石田の宝の一部だと思います。

編集後記

昨年は皆様方に原稿など編集にご協力頂きまして何とか無事発行することができました。御礼申し上げます。本年も石田地区の今と元気で明るい話題をできるだけ取り上げられれば良いと思っていますので、よろしくお願いいたします。

今年からの新しい年号の時代は災いのない穏やかな時代となることを祈っております。



和式を簡易水洗洋式に



水田、宅地周り竹林・立木伐採